

A-101 アルギットの食用効果に関する研究(予報)

東京農大栄養 ○中村かほる 大沃猛 西郷光彦

目的 肥育並びに動脈硬化防止の効果があると称せられているノルウエー産の海藻混合粉末「アルギット」について、体脂肪の増減と血清コレステロール値の変動に及ぼす影響を及ぼすかを追究した。

方法 実験はウイスター系雄の体重156g前後の白ネズミを用い、一群を5匹として標準区、コレステロール区、コレステロール+アルギット5%区、コレステロール+アルギット15%区の4区を設けて行った。コレステロール濃度は0.5%として自由摂取とした。32日間飼育後 断首採血して 血清総コレステロール、遊離コレステロール、血清トリグリセライド等を測定した。

結果 体重増加量を見ると、コレステロール+アルギット15%区が一番おぐれ、次いでコレステロール+アルギット5%区になつてゐる。コレステロール投与によつて肝重量は増加し、同時に白色化も顕著であつた。血清コレステロールについてはコレステロール投与によつて約30%上昇するが、同時にアルギット15%投与した場合は4%の上昇にとゞまり アルギットは血清コレステロール上昇を抑制する効果があるものと考えられる。また体脂肪の増減を推定するために 血清中のトリグリセライド含量を調べたところ コレステロール投与によつて約50%の上昇がみられ アルギットを同時に15%投与した場合は約20%の上昇にとゞまり、血清トリグリセライド上昇を抑制する作用が認められた。